

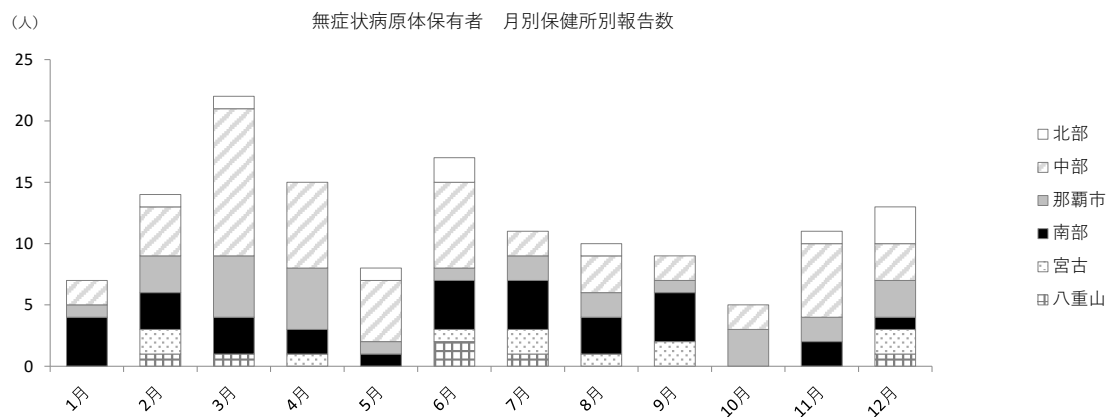
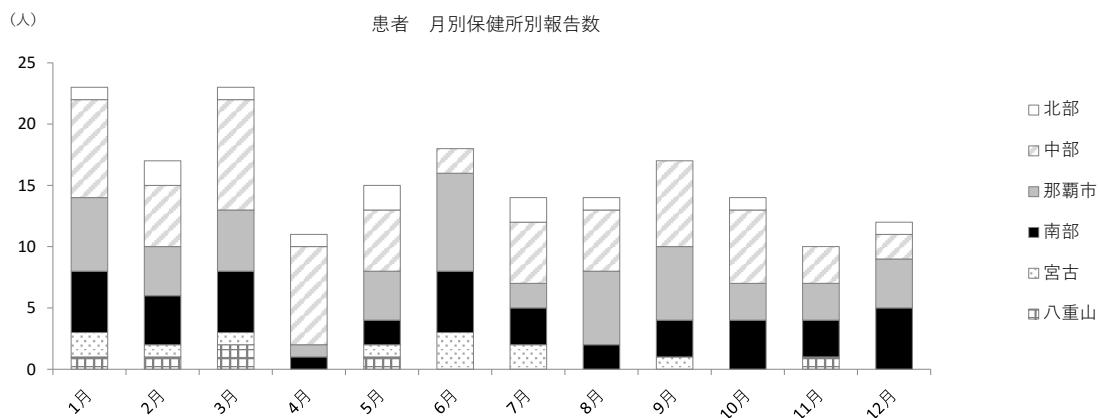
V 參考資料

結核の発生動向【沖縄県:2020年】

(1) 月別保健所別報告数

類型		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総数
結核届出総数	北部	1	3	2	1	3	2	2	2	0	1	1	4	22
	中部	10	9	21	15	10	9	7	8	9	8	9	5	120
	那覇市	7	7	10	6	5	9	4	8	7	6	5	7	81
	南部	9	7	8	3	3	9	7	5	7	4	5	6	73
	宮古	2	3	1	1	1	4	4	1	3	0	0	2	22
	八重山	1	2	3	0	1	2	1	0	0	0	1	1	12
	沖縄県	30	31	45	26	23	35	25	24	26	19	21	25	330
(内訳)	患者※													
	北部	1	2	1	1	2	0	2	1	0	1	0	1	12
	中部	8	5	9	8	5	2	5	5	7	6	3	2	65
	那覇市	6	4	5	1	4	8	2	6	6	3	3	4	52
	南部	5	4	5	1	2	5	3	2	3	4	3	5	42
	宮古	2	1	1	0	1	3	2	0	1	0	0	0	11
	八重山	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	6
	沖縄県	23	17	23	11	15	18	14	14	17	14	10	12	188
無症状病原体保有者	北部	0	1	1	0	1	2	0	1	0	0	1	3	10
	中部	2	4	12	7	5	7	2	3	2	2	6	3	55
	那覇市	1	3	5	5	1	1	2	2	1	3	2	3	29
	南部	4	3	3	2	1	4	4	3	4	0	2	1	31
	宮古	0	2	0	1	0	1	2	1	2	0	0	2	11
	八重山	0	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	1	6
	沖縄県	7	14	22	15	8	17	11	10	9	5	11	13	142

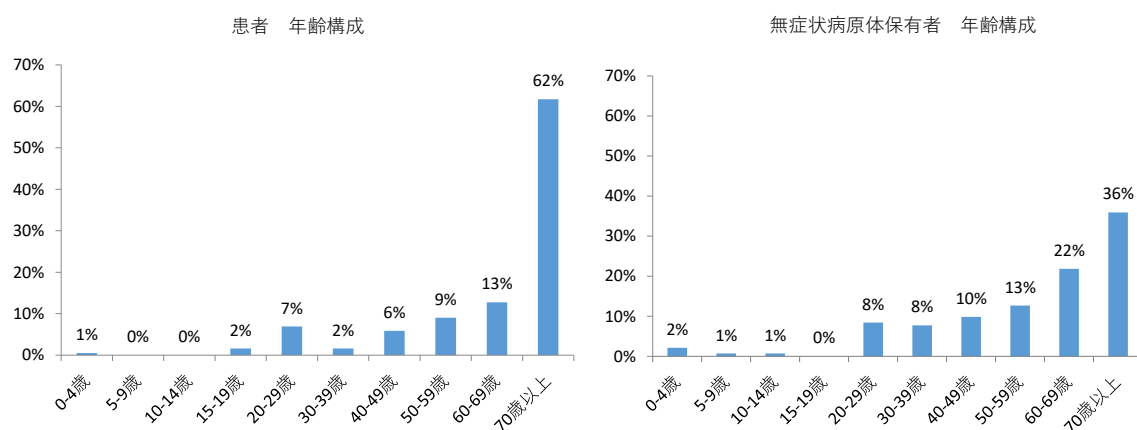
※患者：届出票類型の「患者（確定例）」、「疑似症患者」、「感染症死亡者の死体」、「感染症死亡疑い者の死体」の合計



(2) 年齢別保健所別報告数

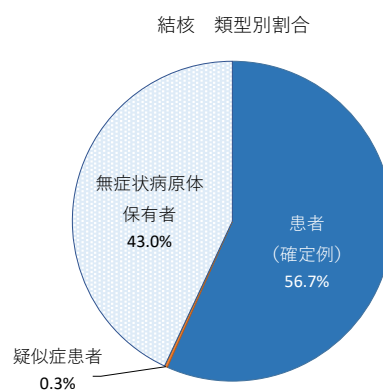
類型		0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	総数
患者※	北部	0	0	0	0	1	1	0	2	1	7	12
	中部	1	0	0	2	1	0	5	4	10	42	65
	那覇市	0	0	0	1	6	2	3	6	5	29	52
	南部	0	0	0	0	5	0	3	4	6	24	42
	宮古	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	11
	八重山	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	6
	計	1	0	0	3	13	3	11	17	24	116	188
	(%)	1%	0%	0%	2%	7%	2%	6%	9%	13%	62%	100%
無症状病原体保有者	北部	0	0	0	0	0	1	2	2	3	2	10
	中部	2	1	1	0	7	5	7	6	9	17	55
	那覇市	0	0	0	0	3	2	0	3	9	12	29
	南部	1	0	0	0	2	1	1	3	7	16	31
	宮古	0	0	0	0	0	0	3	4	1	3	11
	八重山	0	0	0	0	0	2	1	0	2	1	6
	計	3	1	1	0	12	11	14	18	31	51	142
	(%)	2%	1%	1%	0%	8%	8%	10%	13%	22%	36%	100%

※患者＝届出票類型の「患者（確定例）」、「疑似症患者」、「感染症死亡者の死体」、「感染症死亡疑いの死体」の合計



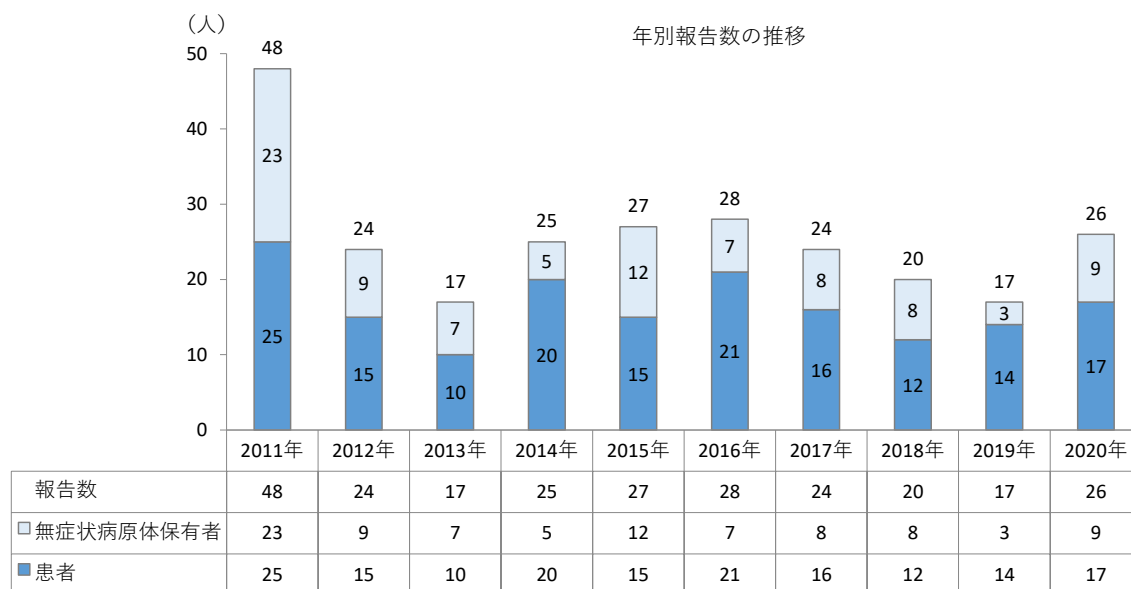
(3) 類型別保健所別報告数

		(内訳)					無症状 病原体 保有者	総計
		患者	患者 (確定例)	疑似症 患者	感染症 死亡者の 死体	感染症死 亡疑いの 死体		
保健 所 別	北部	12	12	0	0	0	10	22
	中部	65	65	0	0	0	55	120
	那覇市	52	51	1	0	0	29	81
	南部	42	42	0	0	0	31	73
	宮古	11	11	0	0	0	11	22
	八重山	6	6	0	0	0	6	12
沖 縄 県	男	118	118	0	0	0	68	186
	女	70	69	1	0	0	74	144
	総計	188	187	1	0	0	142	330



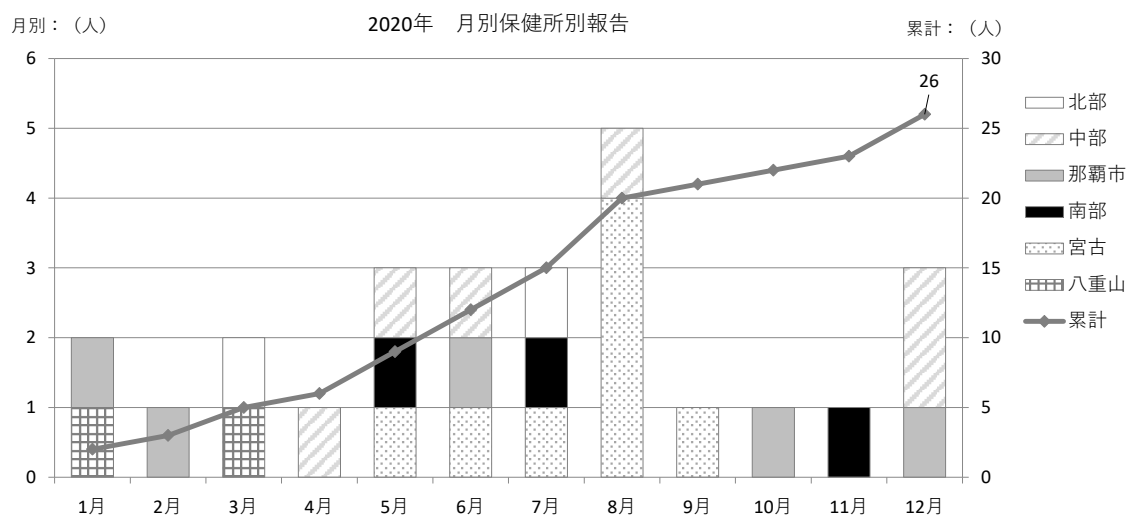
腸管出血性大腸菌感染症の発生動向【沖縄県:2020年】

(1) 年別報告数の推移



(2) 月別保健所別報告数

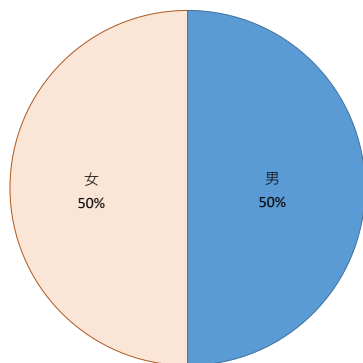
保健所	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
北部	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
中部	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	2	6
那覇市	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	5
南部	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3
宮古	0	0	0	0	1	1	1	4	1	0	0	0	8
八重山	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	2	1	2	1	3	3	3	5	1	1	1	3	26
累計	2	3	5	6	9	12	15	20	21	22	23	26	-



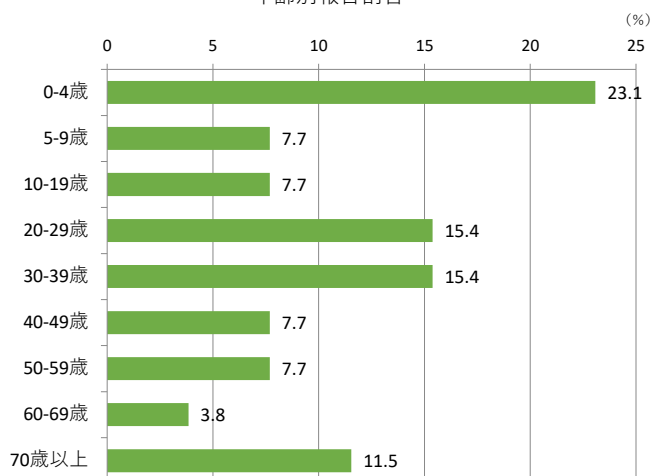
(3) 性別年齢別報告

	0-4歳	5-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	計
男	3	1	0	2	2	2	0	0	3	13
女	3	1	2	2	2	0	2	1	0	13
計	6	2	2	4	4	2	2	1	3	26
割合(%)	23.1	7.7	7.7	15.4	15.4	7.7	7.7	3.8	11.5	100.0

男女別報告



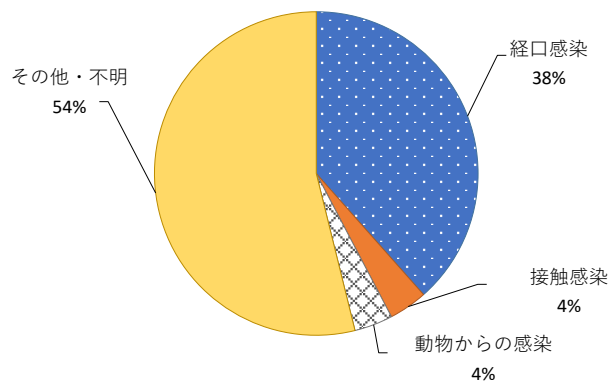
年齢別報告割合



(4) 感染経路

	0-4歳	5-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計
経口感染	2	0	2	1	1	2	0	1	1	10
接触感染	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
動物からの感染	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
その他・不明	3	2	0	2	3	0	2	0	2	14
計	6	2	2	4	4	2	2	1	3	26

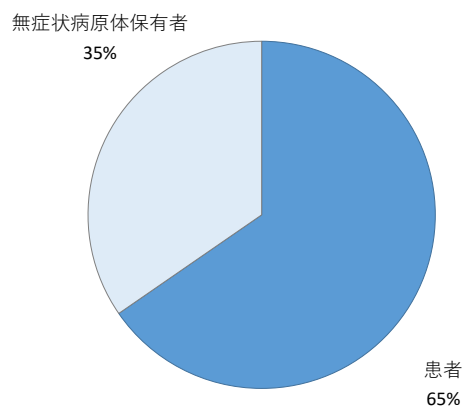
感染経路割合



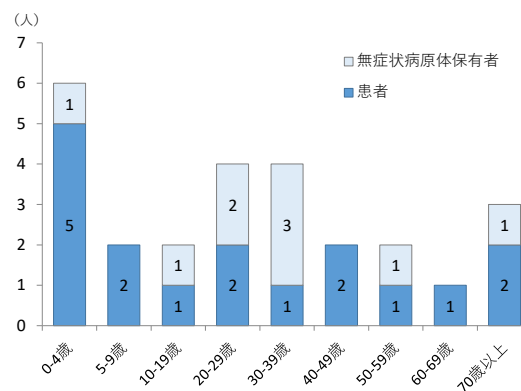
(5) 症状

	0-4歳	5-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	総計
患者	5	2	1	2	1	2	1	1	2	17
無症状病原体保有者	1	0	1	2	3	0	1	0	1	9
計	6	2	2	4	4	2	2	1	3	26

症状別割合



年齢別症状別報告数

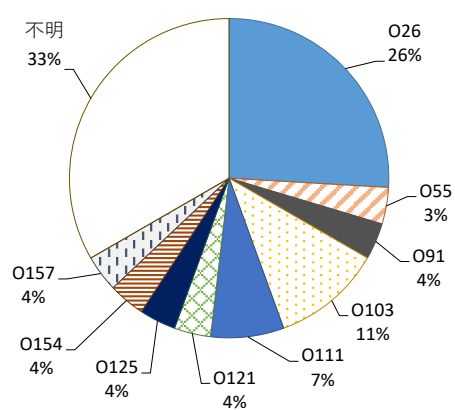


(6) 血清型・ペロ毒素

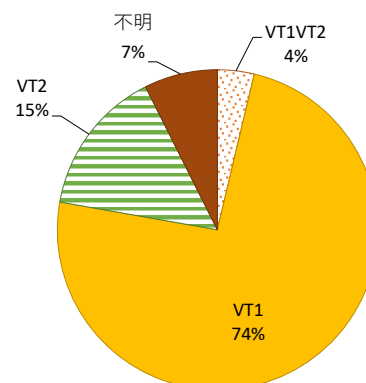
	O26	O55	O91	O103	O111	O121	O125	O154	O157	不明	計
VT1VT2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
VT1	6	1	1	3	1	1	1	0	1	5	20
VT2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	4
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
計	7	1	1	3	2	1	1	1	1	9	27

※重複回答あり

血清型割合



ペロ毒素型割合



梅毒の発生動向 【沖縄県：2011年～2020年】

沖縄県感染症情報センター（沖縄県衛生環境研究所）

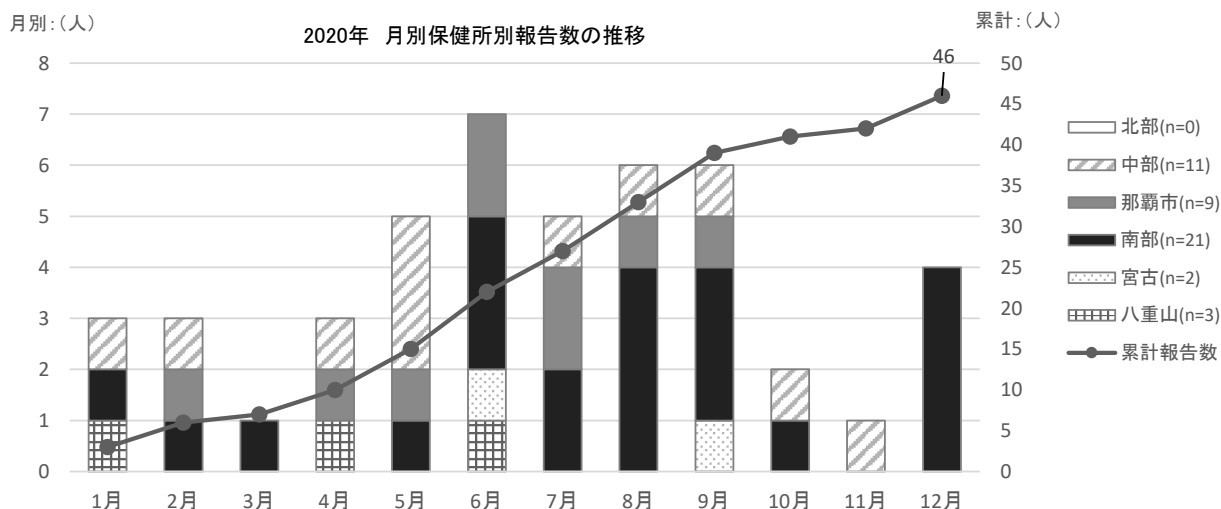
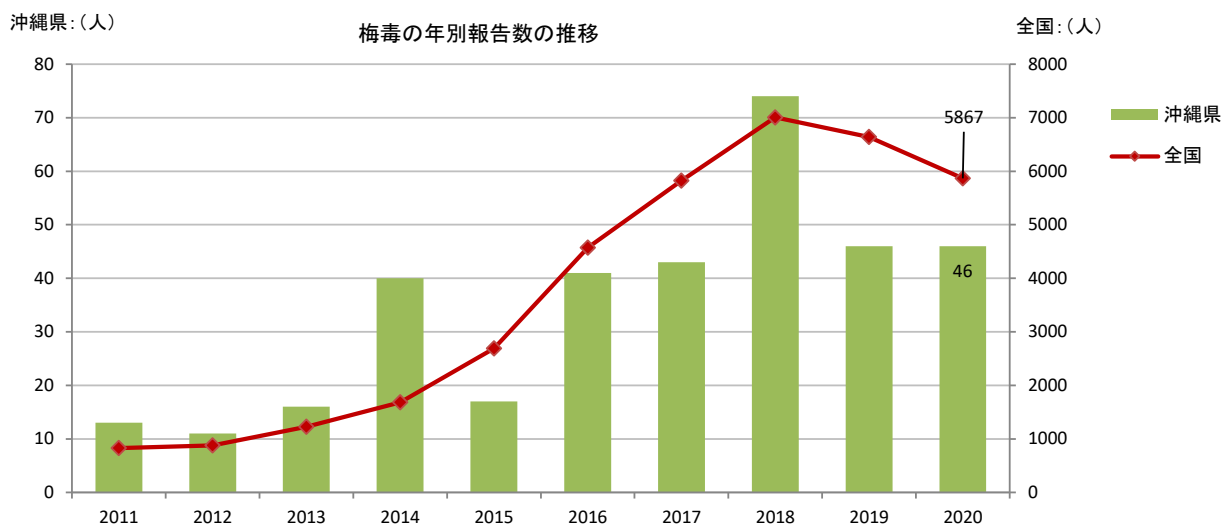
梅毒は、梅毒トレポネーマ(*Treponema Pallidum*)に感染することによって起こる感染症で、主に性行為(皮膚や粘膜との接触)により感染する性感染症です。

感染すると、性器や肛門、口にしこりができたり、全身に発疹が現れたりしますが、一旦症状が消えるため、治ったと間違われることがあります。また、妊婦が感染すると胎盤を通して胎児に感染する、先天性梅毒となる可能性があります。

検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあり、場合によっては死に至る恐れがあります。

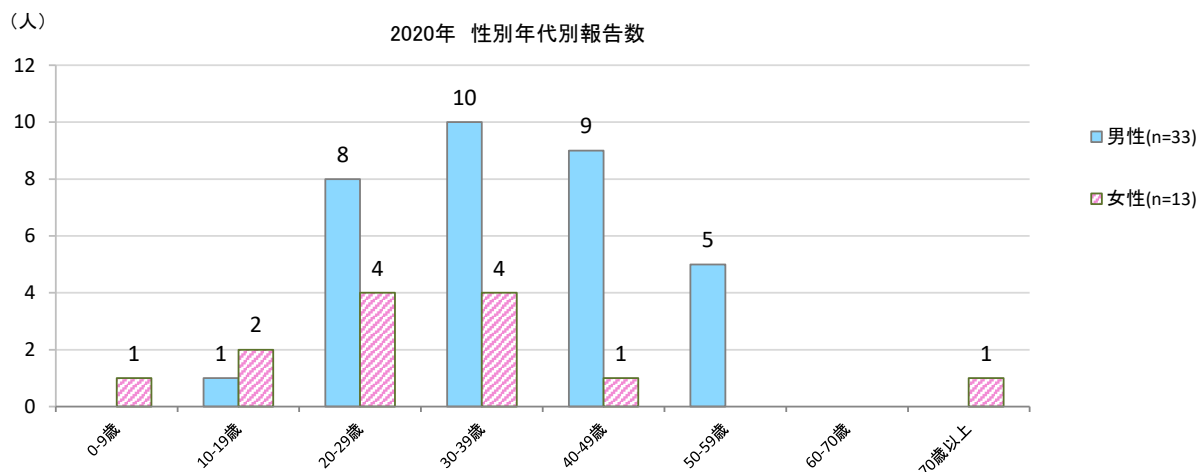
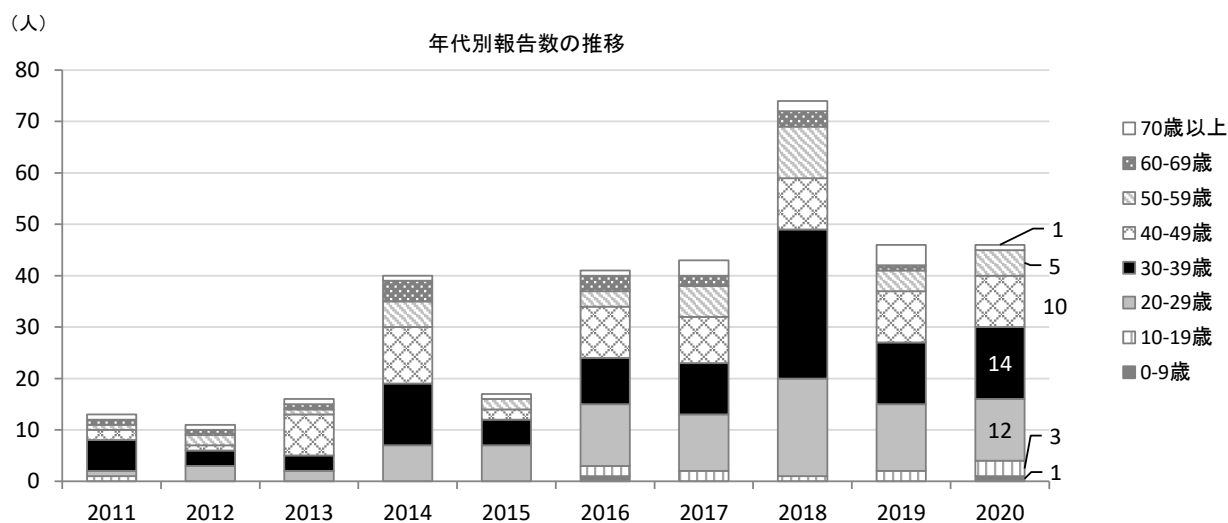
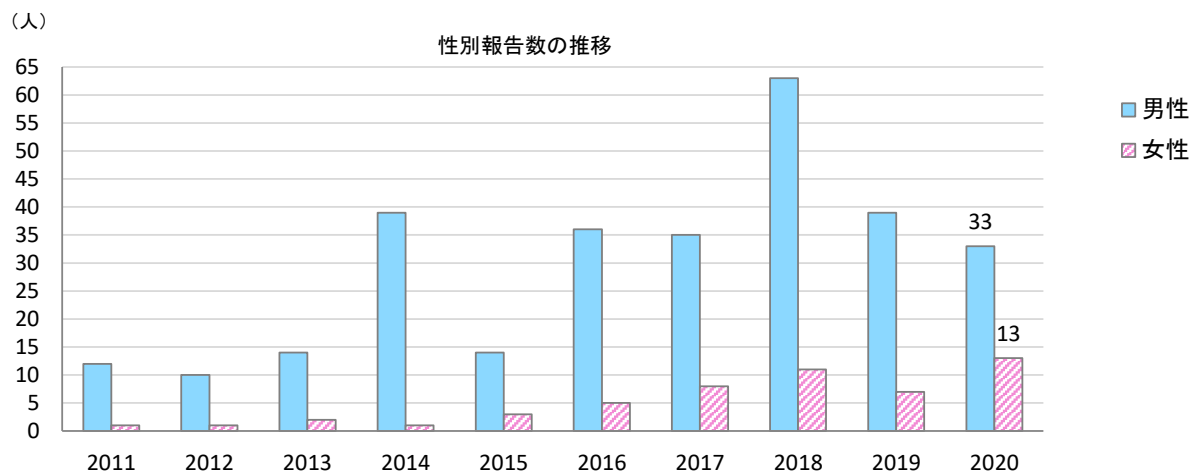
(1) 年別・月別報告数の推移

- ・沖縄県、全国ともに、2011年以降、報告数は増加傾向にありましたが、2018年をピークにやや減少に転じています。
- ・2020年は全国で5867人、沖縄県では46人の報告がありました。
- ・2020年の県内保健所別届出受理数の内訳は、南部が21人で最も多く、次いで中部が11人、那覇市が9人、八重山が3人、宮古が2人でした。北部での報告はありませんでした。



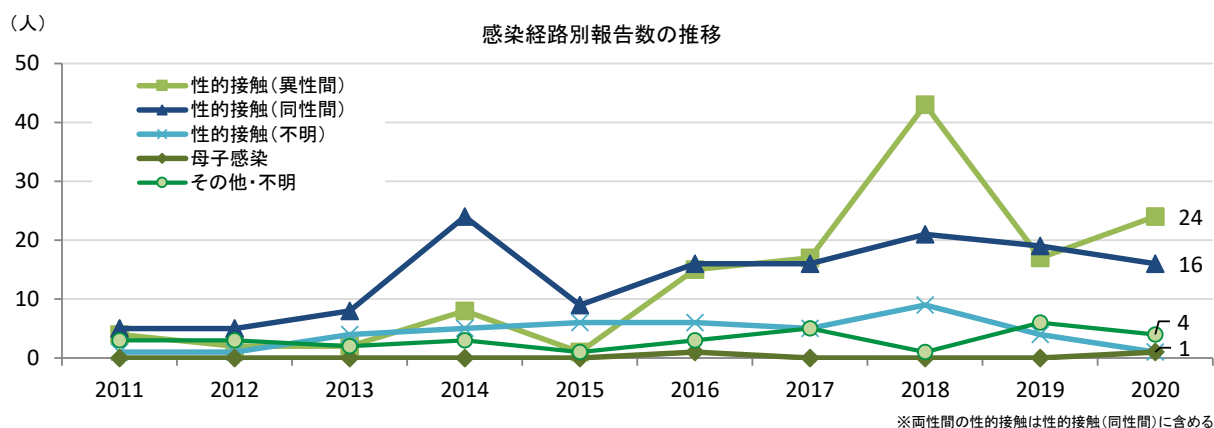
(2)性別・年代別報告数

- ・例年、男性の方が多く報告されています。
- ・女性は2015年以降、増加傾向にあり、2020年は過去最高の13人が報告されました。
- ・例年20～40代の報告が多くあります。
- ・2020年は30代が14人で最も多く、次いで20代が12人、40代が10人、50代が5人、10代が3人、10歳未満と70代以上が各1人でした。



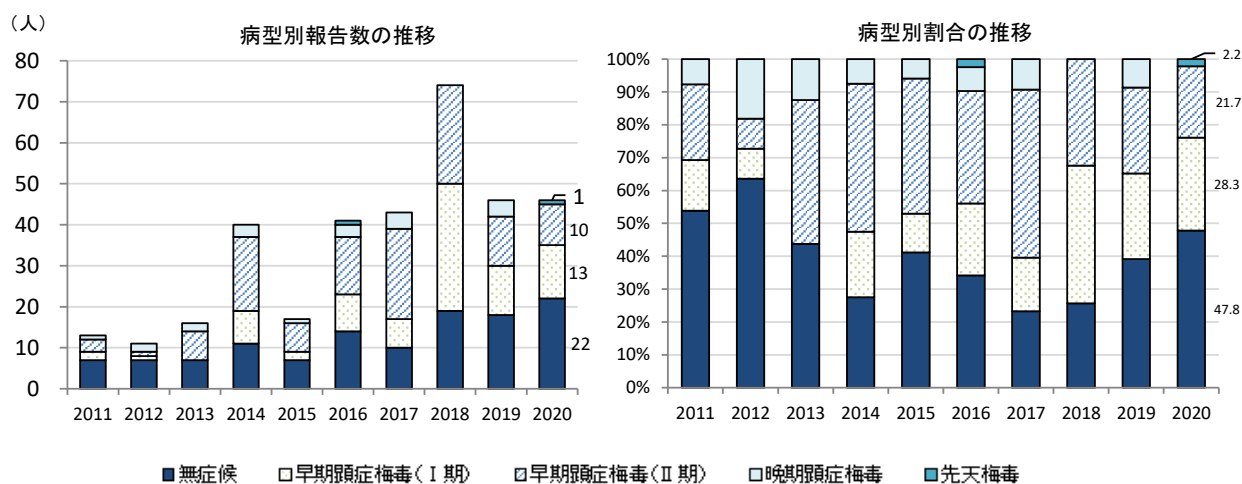
(3) 感染経路別報告数

- ・2016年以降、性的接触（異性間）は増加傾向がやや見られます。
- ・2020年は性的接触（異性間）が24人で最も多く、次いで性的接触（同性間）が16人、その他・不明が4人、性的接触（不明）が及び母子感染が各1人でした。



(4) 症状別報告数

- ・2017年以降、無症候の割合が増加傾向にあり、2020年は全体の47.8%が無症候でした。
- ・2020年は、無症候が22人で最も多く、次いで早期顕症梅毒（Ⅰ期）が13人、早期顕症梅毒（Ⅱ期）が10人、先天梅毒が1人でした。



(5) 予防・対策

- ・不特定多数との性交渉を控え、コンドームを使用しましょう。
- ・皮膚や粘膜等に異常があれば、早めに医療機関を受診しましょう。
- ・県内保健所では梅毒の検査を無料・匿名で行っていますが、新型コロナウイルス感染症の影響等で休止している場合があります。詳細については各保健所のホームページをご覧ください。

(6) 参考資料

- ・国立感染症研究所「梅毒とは」
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/465-syphilis-info.html>
- ・厚生労働省「梅毒に関するQ&A」
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

後天性免疫不全症候群(HIV感染者/AIDS患者)の発生動向【沖縄県:2011年～2020年】

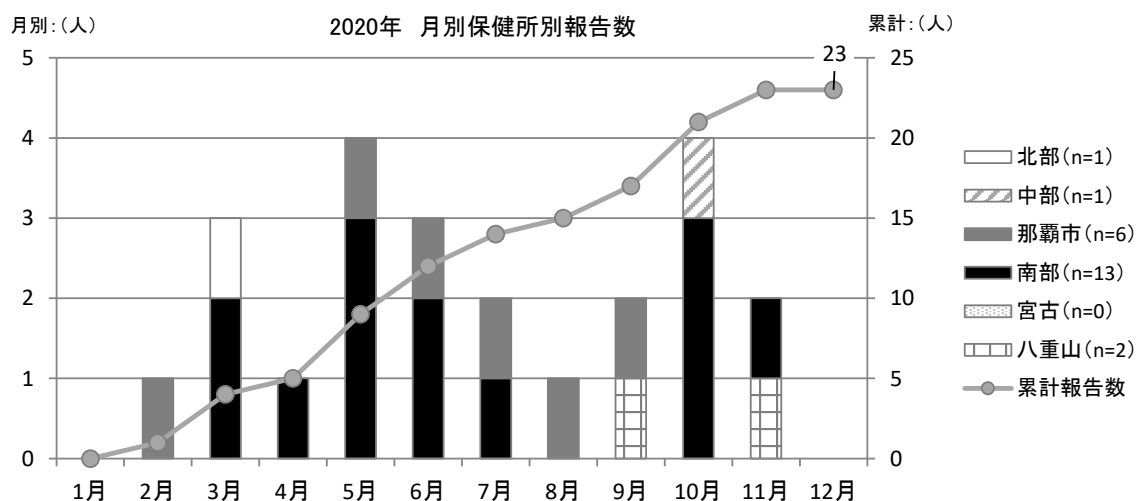
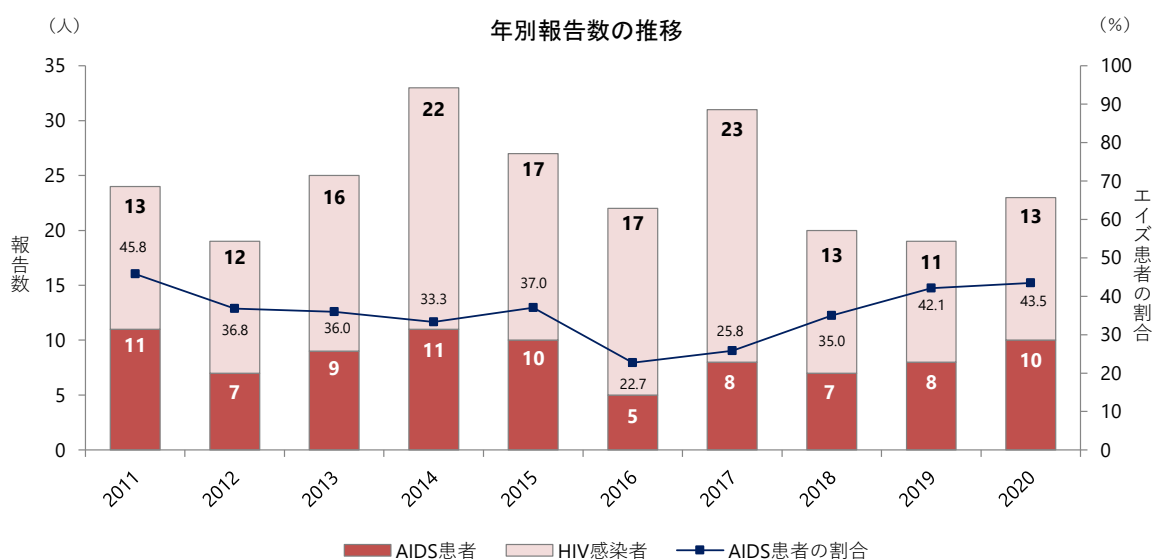
沖縄県感染症情報センター(沖縄県衛生環境研究所)

AIDS(エイズ:後天性免疫不全症候群)は、HIV(AIDSの原因ウイルス)に感染することによって起こる病気で、主な感染経路は、①性行為、②血液を介しての感染(注射器具の共用等)、③母子感染の3つです。

HIVに感染しても、すぐに症状が出ることは少なく、自覚症状のない時期(無症候期)が数年～10年ほど続きます。さらに進行すると、免疫力が低下し、本来なら自分の力で抑えることのできる病気などを発症するようになります。免疫力が低下することで発症する疾患のうち、指標となる代表的な23疾患を発症した時点でAIDS発症と診断されます。

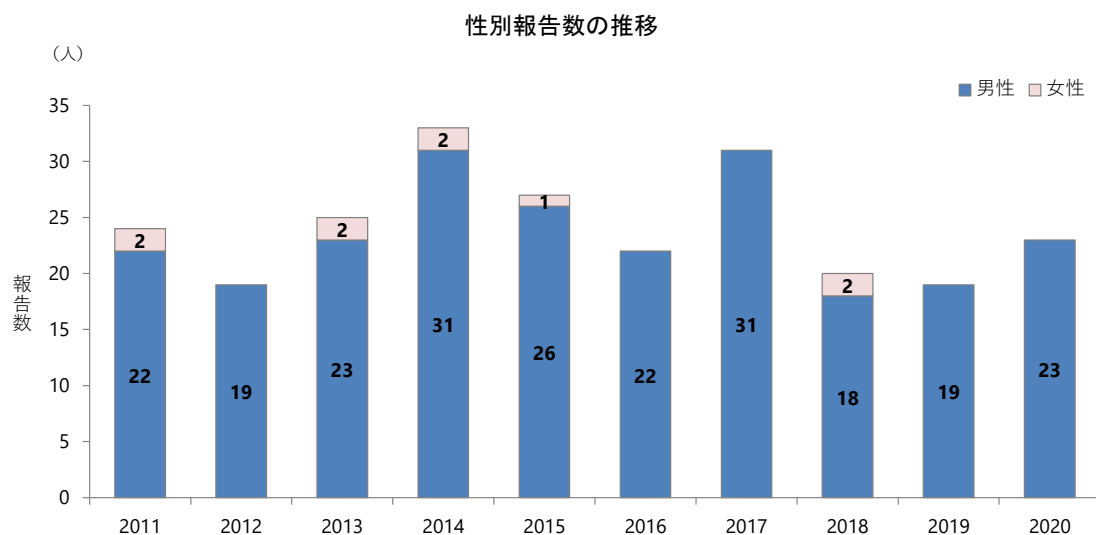
(1)年別・月別報告数

- ・AIDS患者の割合は2016年以降、増加傾向にあり、2020年は43.5%でした。
- ・2020年の報告数は23人で、そのうち10人がAIDS患者でした。
- ・2020年の保健所別報告数は南部が13人で最も多く、次いで那覇市が6人、八重山が2人、北部及び中部が各1人で、宮古での報告はありませんでした。



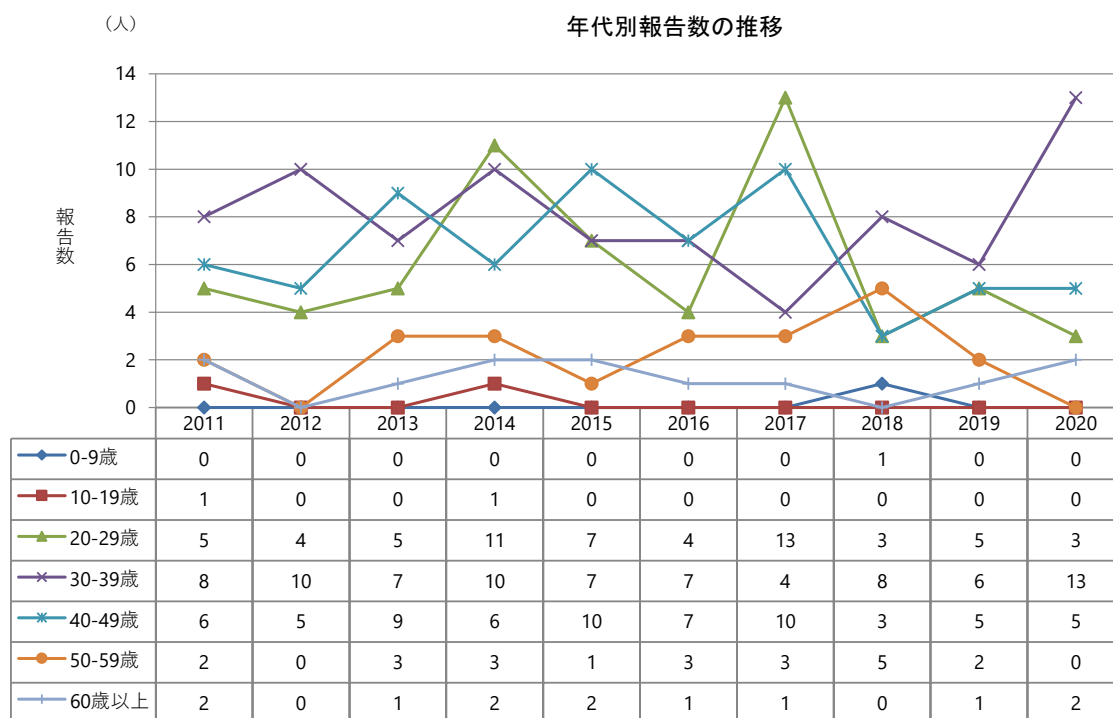
(2) 性別報告数

- ・いずれの年も男性で多くの報告がありました。
- ・2020年は男性の報告数が23人で、女性の報告はありませんでした。



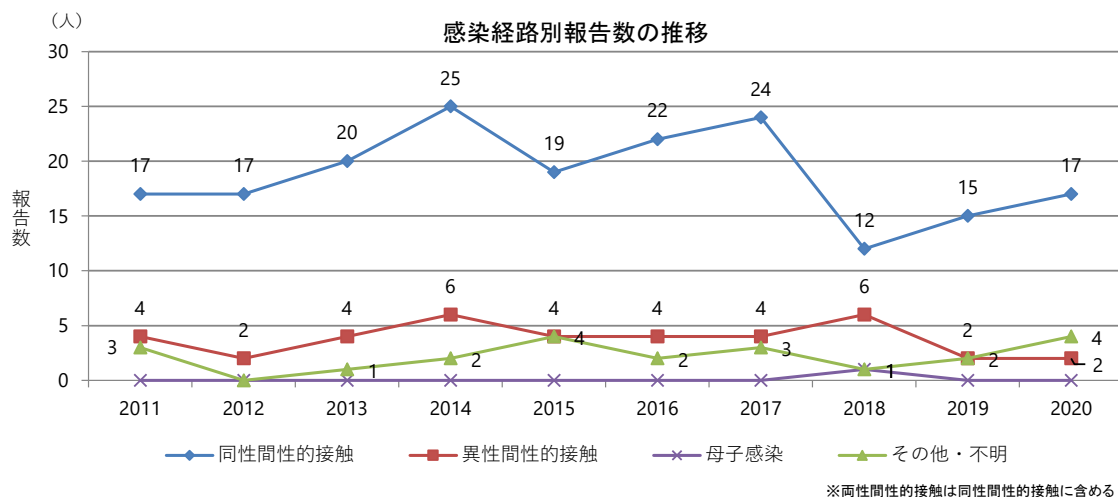
(3) 年代別報告数

- ・例年、20代から40代での報告が多く見られます。
- ・2020年の報告数は30代が13人で最も多く、次いで40代が5人、20代が3人、60歳以上が2人でした。



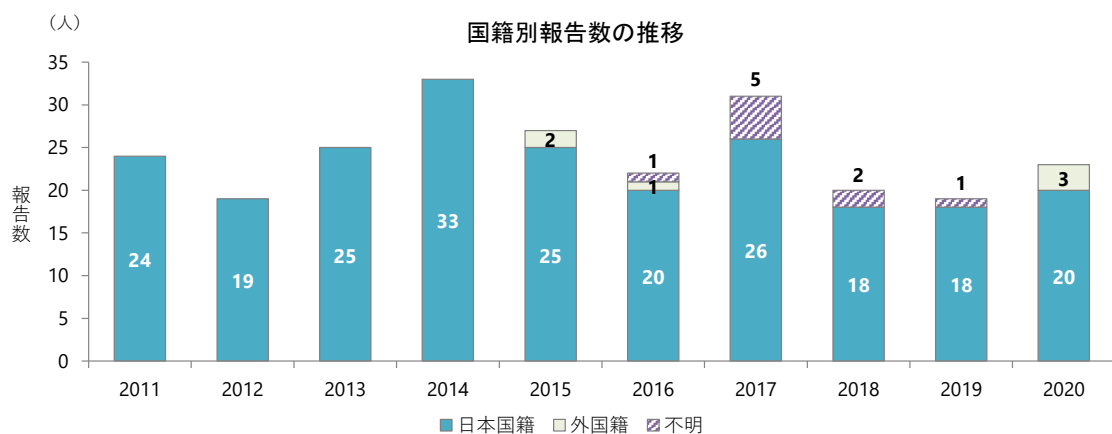
(4) 感染経路別報告数

- ・いずれの年も同性間性的接触が最も多く報告されています。
- ・2020年は同性間性的接触の報告数が17人です。



(5) 国籍別報告数

- ・いずれの年も日本国籍で多くの報告がありました。
- ・2020年は日本国籍が20人、外国籍が3人の報告がありました。



(6) 予防・対策

- ・HIV感染の80%以上は性行為によって感染していますので、
 - ①不特定多数との性交渉を控えましょう。
 - ②コンドームを正しく使用しましょう。
- ・県内保健所ではHIV検査を無料・匿名で行っていますが、新型コロナウイルス感染症の影響等で休止している場合があります。詳細については各保健所のホームページをご覧ください。

現在、AIDSは治療薬等の進歩により、適切な治療を行うことで症状をコントロールしながら普通の生活を送ることができるようになっていきます。早期に発見し適切な治療を始めれば、AIDSの発症を回避することができるため、感染に心当たりの方や心配な方は検査を受けるようにしましょう。

新型コロナウイルス感染症の発生動向【沖縄県:2020年】

沖縄県感染症情報センター(沖縄県衛生環境研究所)

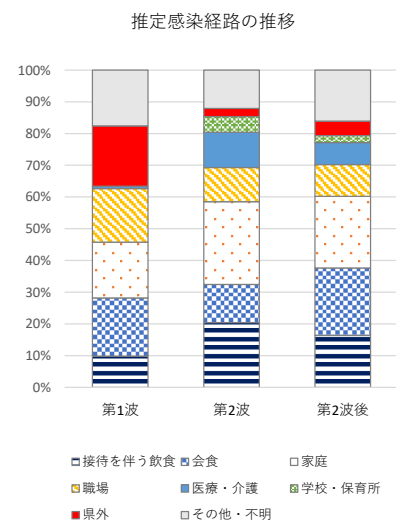
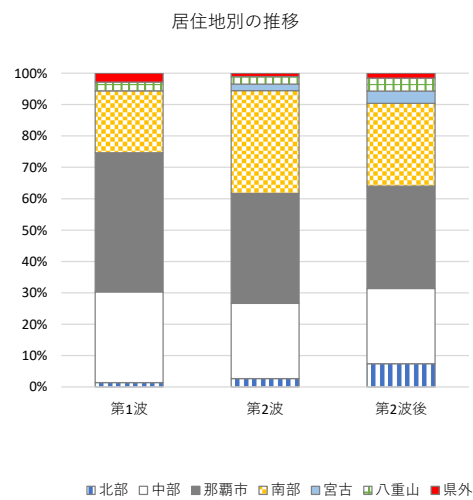
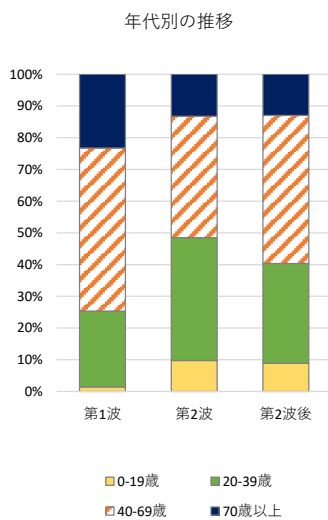
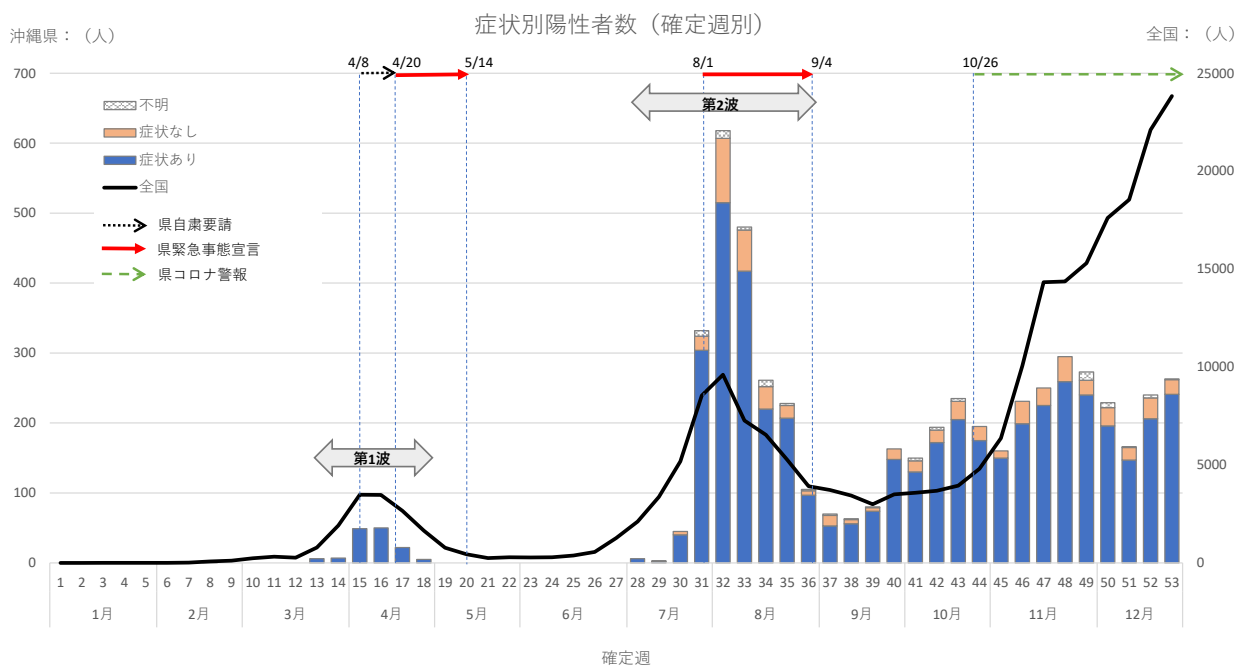
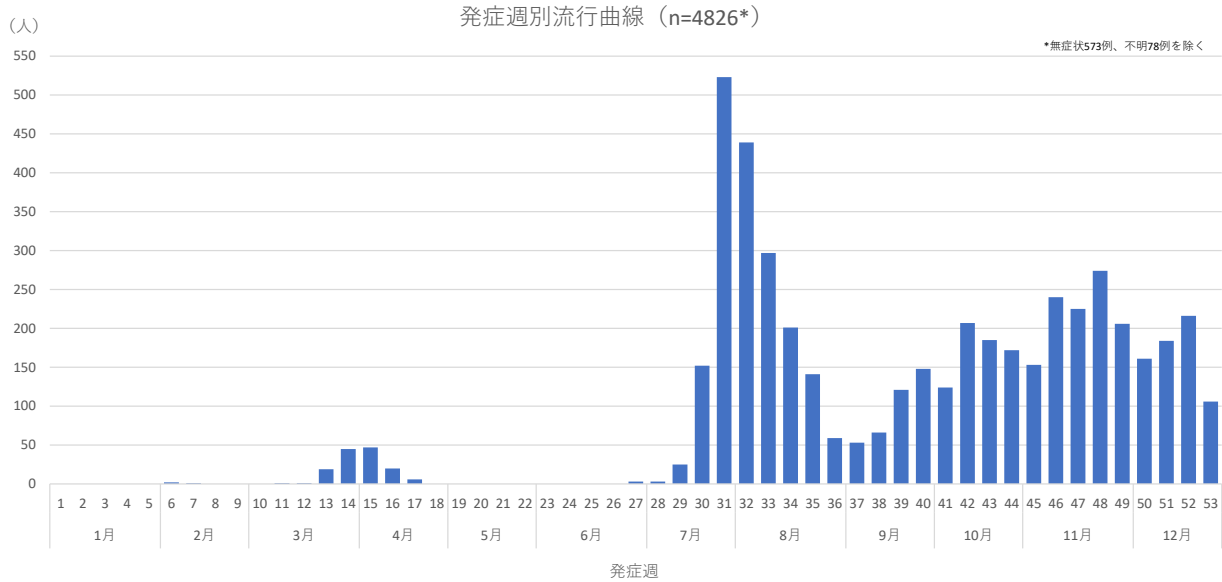
沖縄県では、2020年2月14日(第6週)に初めて新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認されて以降、第53週(2021年1月3日)までに5,477人の陽性が確認・報告された。その間、年度末の3月下旬から4月下旬にかけて(第1波)、連休やお盆期間のあった7月上旬から9月上旬にかけて(第2波)、年末の12月下旬以降(第3波序盤)と、人の動きが活発になる時期に大きな流行が見られた。第1波は3月下旬から徐々に陽性者数が増加し、4月8日には不要不急の外出自粛および来県自粛の要請がなされた。さらに、4月20日には一度目の県独自の緊急事態宣言が発出され、感染収束から約2週間後の5月14日に宣言が解除された。4月末以降は陽性数0が約2ヶ月続いたが、7月上旬に再び陽性者が確認され、7月下旬から8月上旬にかけて急速に感染が拡大し、第2波が到来した。8月1日には二度目となる県独自の緊急事態宣言が発出された。陽性者数は8月上旬をピークに徐々に減少し、9月5日に宣言が解除されたが、その後も陽性者数は0になることはなかった。その後、10月26日には沖縄県コロナ警報が発令されたが、陽性者数は年末にかけて緩やかな増加が続いた。

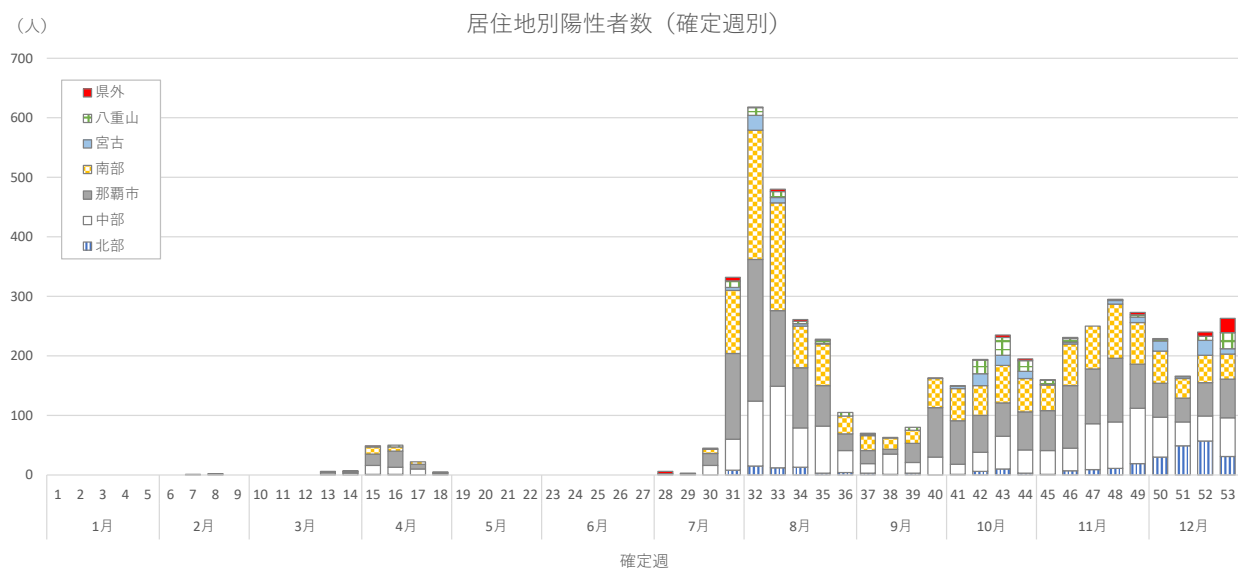
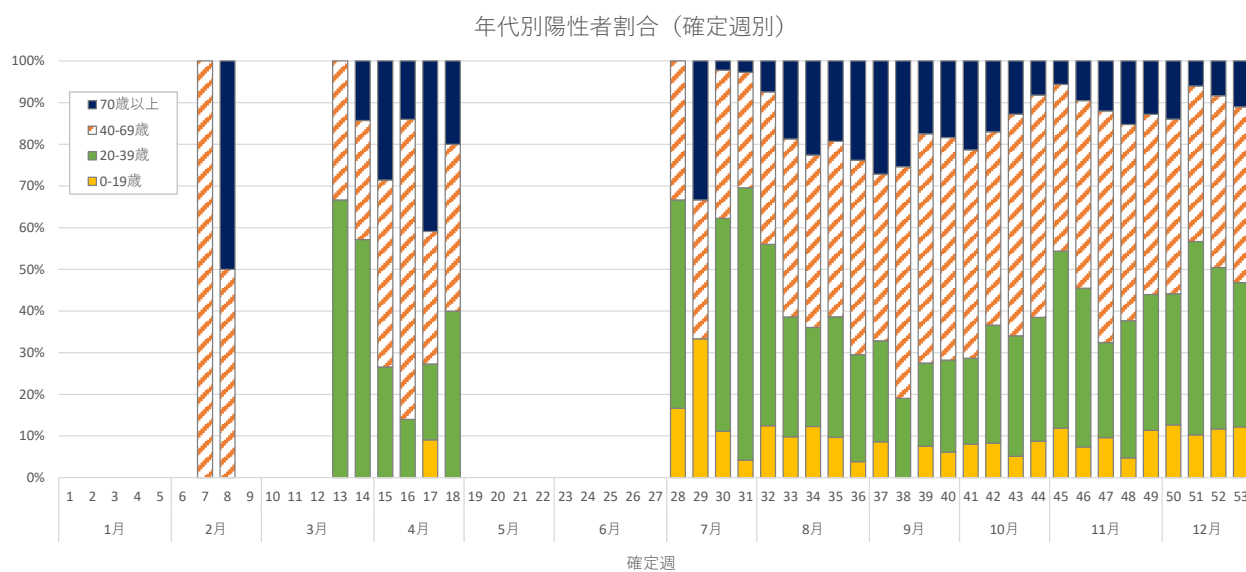
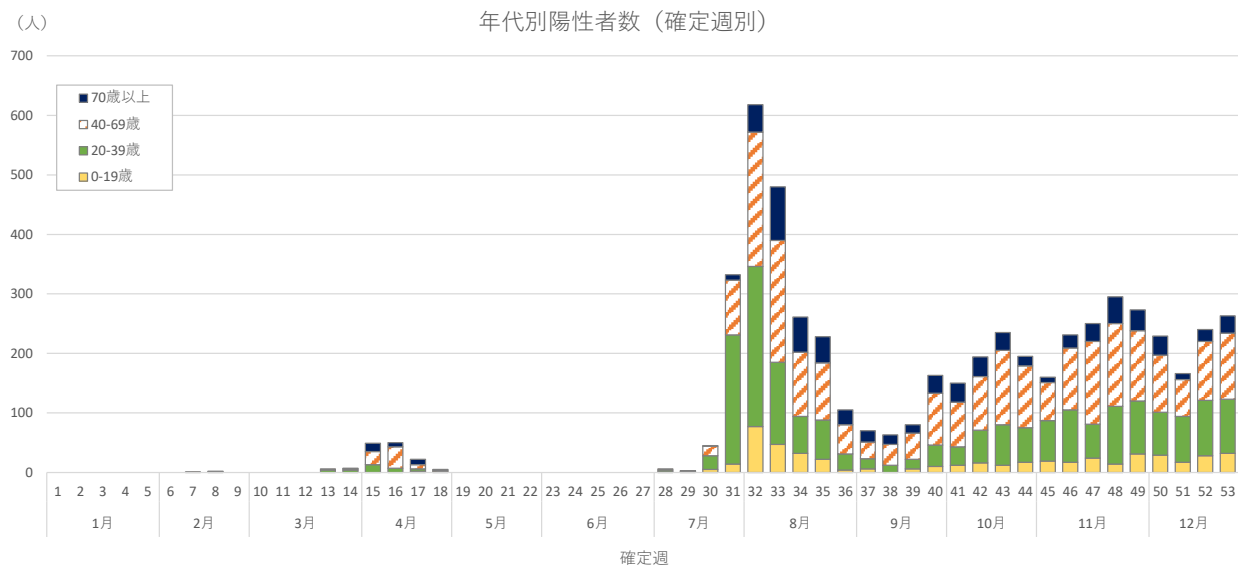
年代別では、70歳以上の割合が第1波では20%を超えていたが、第2波以降は13%前後まで減少した。一方、0-19歳の未成年の割合は第1波では約1%だったのに対し、第2波以降は9%前後に増加していた。また、流行の序盤では20-69歳の層が多く、流行の終盤にかけて70歳以上の割合が増加していた。

居住地別では、第1波は本島中南部(中部、那覇市、南部)が主だったが、第2波以降は本島北部や離島(宮古、石垣)での陽性者も見られるようになった。

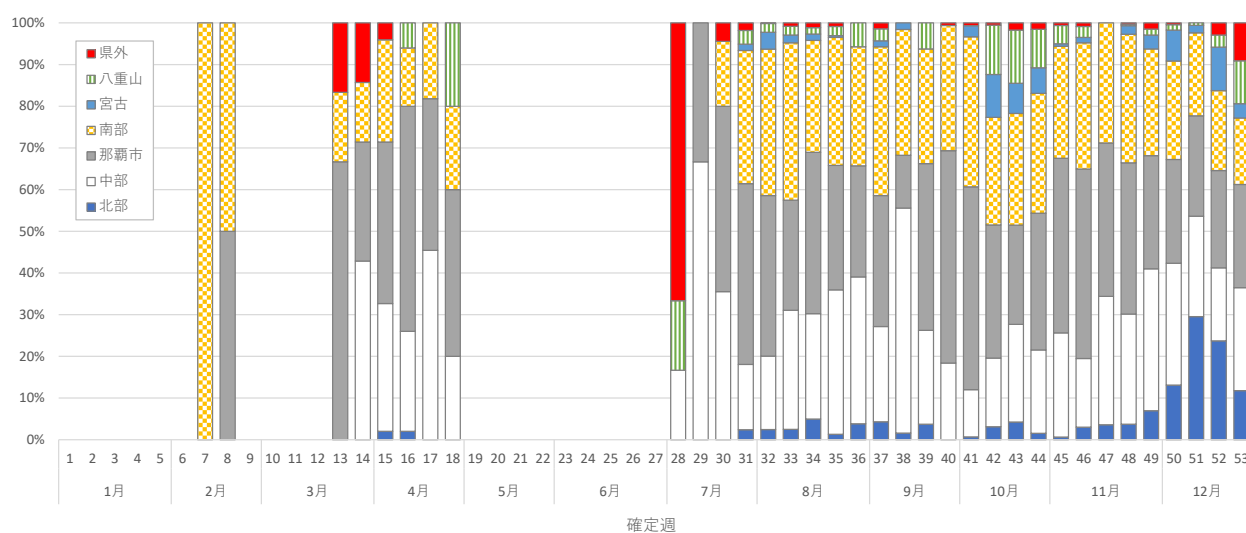
推定感染経路別では、第1波、第2波とも、流行序盤には県外からの持ち込みと見られる事例が確認された。また、第2波の序盤は会食(接待を伴う会食を含む)の割合が多く、ピーク期には家庭や学校での割合が増加し、ピーク期から流行終盤にかけては医療・介護施設での割合が増加していた。

【対象】 確定週 2020年第1週～2020年第53週	2020年 第1週～第53週 2019/12/30～2021/1/3 N=5477		第1波 第1週～第27週 2019/12/30～2020/7/5 n=142		第2波 第28週～第36週 2020/7/5～2020/9/6 n=2078		第2波後 第37週～第53週 2020/9/7～2021/1/3 n=3257	
	中央値 四分位範囲		中央値 四分位範囲		中央値 四分位範囲		中央値 四分位範囲	
	報告数 %		報告数 %		報告数 %		報告数 %	
年齢(歳)	43	[28-60]	52	[39-68]	40	[26-59]	45	[29-60]
性別	男性	3,077 56.2	86	60.6	1,089	52.4	1,902	58.4
	女性	2,400 43.8	56	39.4	989	47.6	1,355	41.6
年代	10歳未満	158 2.9	0	0.0	80	3.8	78	2.4
	10-19歳	337 6.2	2	1.4	123	5.9	212	6.5
	20-29歳	1,014 18.5	20	14.1	457	22.0	537	16.5
	30-39歳	850 15.5	14	9.9	348	16.7	488	15.0
	40-49歳	946 17.3	26	18.3	329	15.8	591	18.1
	50-59歳	766 14.0	25	17.6	242	11.6	499	15.3
	60-69歳	676 12.3	22	15.5	224	10.8	430	13.2
	70-79歳	405 7.4	27	19.0	137	6.6	241	7.4
	80-89歳	227 4.1	6	4.2	101	4.9	120	3.7
	90歳以上	98 1.8	0	0.0	37	1.8	61	1.9
症状	あり	4,826 88.1	142	100.0	1,808	87.0	2,876	88.3
	なし	573 10.5	0	0.0	233	11.2	340	10.4
	不明	78 1.4	0	0.0	37	1.8	41	1.3
居住地	北部	298 5.4	2	1.4	55	2.6	241	7.4
	中部	1,321 24.1	41	28.9	499	24.0	781	24.0
	那覇市	1,853 33.8	63	44.4	727	35.0	1,063	32.6
	南部	1,568 28.6	28	19.7	681	32.8	859	26.4
	宮古	172 3.1	0	0.0	44	2.1	128	3.9
	八重山	188 3.4	4	2.8	50	2.4	134	4.1
	県外	77 1.4	4	2.8	22	1.1	51	1.6
推定 感染経路	接待を伴う飲食	971 17.7	14	9.9	424	20.4	533	16.4
	会食	969 17.7	26	18.3	250	12.0	693	21.3
	家庭	1,301 23.8	25	17.6	542	26.1	734	22.5
	職場	575 10.5	24	16.9	224	10.8	327	10.0
	医療・介護	458 8.4	1	0.7	231	11.1	226	6.9
	学校・保育所	173 3.2	0	0.0	102	4.9	71	2.2
	県外	231 4.2	27	19.0	54	2.6	150	4.6
	その他・不明	799 14.6	25	17.6	251	12.1	523	16.1

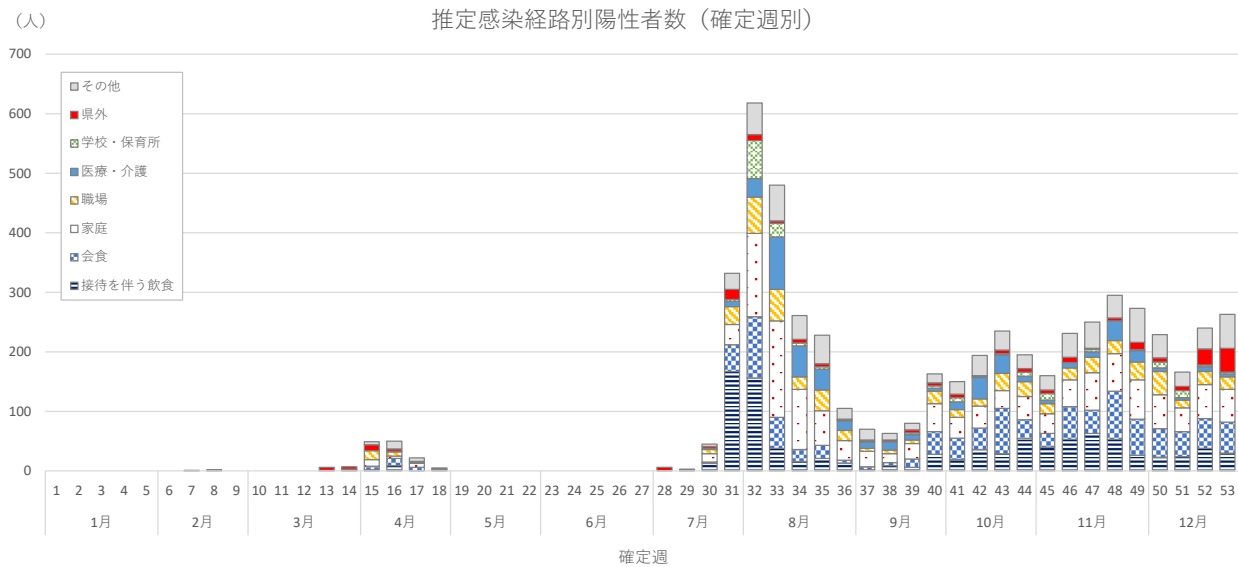




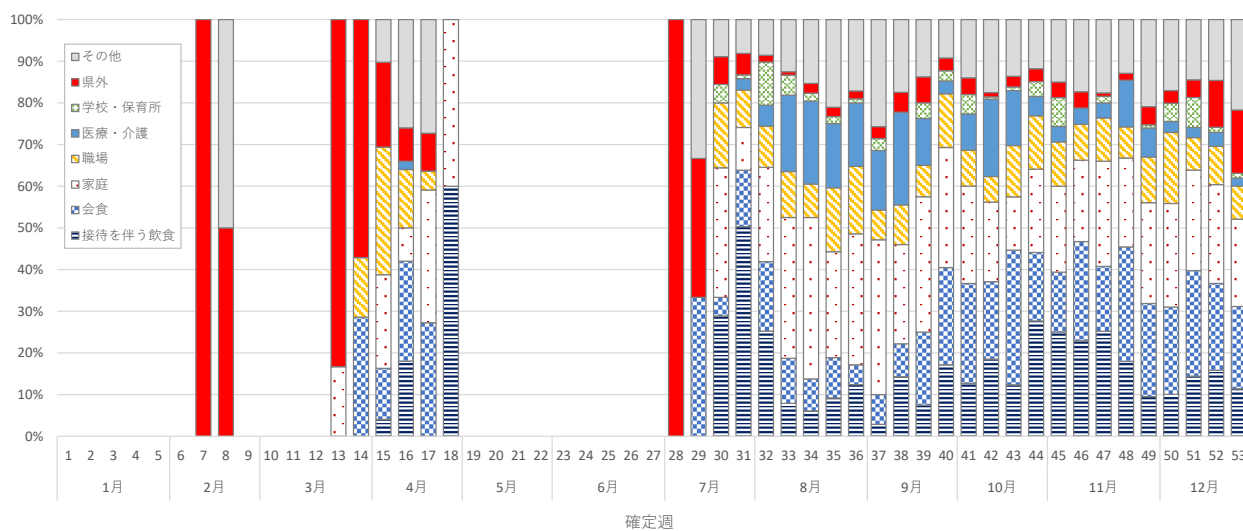
居住地別陽性者数（確定週別）



推定感染経路別陽性者数（確定週別）



推定感染経路別陽性者割合（確定週別）



2020年 沖縄県感染症発生動向調査事業報告書

発行年月 2022年3月
発行・編集 沖縄県保健医療部ワクチン接種等戦略課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号
TEL (098) 866-2013
FAX (098) 869-7100
編集 沖縄県衛生環境研究所企画管理班（企画情報）
〒904-2241 沖縄県うるま市字兼箇段17番地1
TEL (098) 987-8212
FAX (098) 987-8210
印刷 株式会社国際印刷
〒901-0147 沖縄県那覇市宮城1-13-9
TEL (098) 857-3385
FAX (098) 857-3892
